

定冠詞

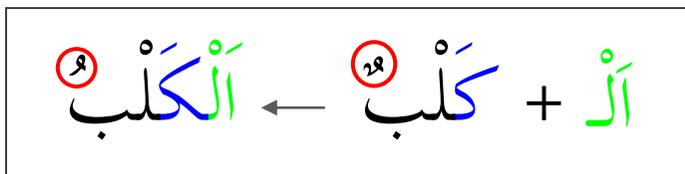
「犬」は *kalbun* でしたね。語尾に *n* という音がつくことをタンウィーンといいます。これは不特定(非限定)であることを示します。つまり、*kalbun* は「ある犬」(英語 *a dog*)です。

特定(限定)される名詞には定冠詞がつきます。アラビア語の定冠詞は「アル」 *ألْ* (*al*)。定冠詞がつくと、不特定(非限定)を示す、語尾の *n* は失われます。つまり、「その犬」(英語 *the dog*)は *al-kalbu* となります。

それでは、これをアラビア文字で書いてみましょう。

定冠詞と単語はつなげて書きます。定冠詞「アル」 *ألْ* (*al*)の *لْ* (*l*)は語頭形になり、*ألْ*。ローマ字 *l* (アイ)の後に *l* の鏡文字。「縦・縦・横」と線を引くだけ。簡単なので、まず覚えてしまいましょう。

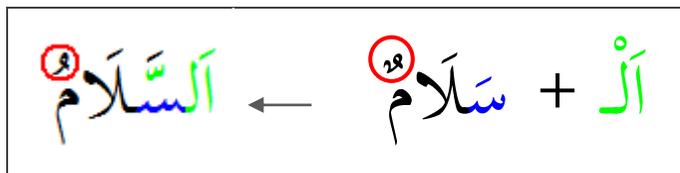
定冠詞がつくと、単語の語頭の文字は語中形に変わります。また、語尾の記号 *un* は *u* になります。



それでは単語に定冠詞をつけてみましょう。

定形(限定)	不定形(非限定)	
		少年
		日本人
		父

定冠詞 **أَلْ** (al) に続けて発音しようすると、言いにくい語があります。それは太陽文字(文法 p.25)で始まる語です。太陽文字で始まる語につく定冠詞は、「アッ」と促音で発音します。定冠詞 **أَلْ** (al) の **ل** には記号をつけず、代わりに単語の最初の文字にシャッタ(応用 p.6、文法 p.21)をつけ、**أَلْ** と書きます。



それでは、太陽文字で始まる単語に定冠詞をつけてみましょう。

定形(限定)	不定形(非限定)	
		レッスン
	لُغَةٌ	言語 lughatun
	تَلْمِيذٌ	生徒 tilmīdhun

*シャッタ記号(◌ّ)は常にアラビア文字の上にあります。母音 a を示す記号(◌َ)や母音 u を示す記号(◌ُ)をつけ加えるときは、シャッタの上にあります。母音 i を示す記号(◌ِ)をつけ加えるときは、通常どおり文字の下に書いてもよいし(◌̀)、文字の上、シャッタのすぐ下(◌̣)でもよいです。

◎「覚える単語」の黒い文字は月文字。月文字で始まる語につく定冠詞は「アル」。緑色の文字は太陽文字。太陽文字で始まる語につく定冠詞は「アッ」。ここに出ている単語は定冠詞がついた形(定形)も覚えましょう。